消防団 石神井 INFORMATION

令和７年秋季　第４４号

発行　：石神井消防団本部
（石神井消防署内）
☎　：０３（３９９５）０１１９
編集　：石神井消防団広報委員会

60Anniversary

石神井消防団は今年で発団６０年を迎えました

消防操法大会を挙行　第１０分団４連覇

6月2日(土) に第50回消防操法大会が石神井公園Ｂ地区野球場に於いて挙行されました。
本大会は、消防団員の技能向上と士気の高揚を目的に毎年行われており、今年も地域の安全を担う団員たちが、日頃の訓練の成果を披露しました。

3分団　指揮者　三浦部長

7分団　1番員　篠団員

5分団　2番員　平野団員

1分団　3番員　笠原団員

2分団　4番員　鹿島団員

照姫まつり警戒と団員募集広報

4月20日(日) 第38回照姫まつりが行われました。大勢の方が来場された中、石神井消防団では消防署と連携して、会場やパレードでの火災予防警戒を行いました。野球場ひろばでは、防火服等の着用体験コーナーを設けて、消防団員募集広報を行いました。

水防訓練に参加

5月17日(土) 都立城北中央公園に於いて、練馬区と第十消防方面の合同水防訓練が実施され、石神井消防団が訓練に参加しました。
訓練では、大雨の増水で河川に氾濫の危険が発生し、地下室への浸水を防ぐという想定で土のうを積み上げる工法を実施しました。
当日は強い雨も降る中、実戦さながらの訓練となりました。

上級救命講習を実施

8月に石神井消防署に於いて、消防団員の技術向上と技能維持を目的に、上級救命講習が実施されました。
傷病者の命を救う、かつ悪化の防止を目的に、新規講習や3年に1度の再講習を継続的に開催しています。
各団員は、消防団活動での実経験に基づき、緊急時を想定し、実技を含めた講習を真剣に取り組んでいました。

はたらく消防の写生会への参加

管内の小学校及び特別支援学校に於いて写生会が実施され、石神井消防署と共に参加しました。
消防車の細部まで観察する子、格好良く消防団員を描く子、それぞれの想いが詰まった個性溢れる楽しい写生会となりました。

@関町小学校

@南田中小学校

@大泉西小学校

新入団員教育訓練を実施

7月5日(土) 石神井消防署に於いて新入団員教育訓練が行われ、9名が参加しました。
訓練では、活動服・防火服の着装の仕方を学んだり、屋外に出てホース延長・放水訓練を実施しました。また、座学では消防団員についての講習を受け、知識を深めました。

発団６０周年祝賀会を挙行

石神井消防団は、昭和40年に石神井消防署と同じく練馬消防団から分離発足し、今年で発団60周年を迎えました。
6月20日(㊏)ＪＡ東京あおば石神井支店に於いて、練馬区長をはじめ多数のご来賓のご臨席のもと、60周年祝賀会が挙行されました。

実戦的活動訓練を実施

7月19日(土) 石神井消防署に於いて、消防団員の技術と能力向上を目的に、実戦的消防活動訓練が行われました。
当日は日差しも強く暑さが厳しい日でしたが、参加した団員は精力的に訓練に励んでいました。

視察研修

9月14日(日) 東京消防庁第六消防方面本部消防救助機動部隊（通称：ハイパーレスキュー）と本所防災館を訪問し視察研修を行いました。
ハイパーレスキューの施設では部隊の活動記録を映像で視聴後、格納庫に移り配備されている車両の説明を受けながら見学し、部隊の活動訓練を見学しました。
参加団員は普段地元の消防署では見る事の出来ない特殊な車両を前に、隊員の方々に色々と質問をしていました。
午後は場所を本所防災館に移して、様々な防災体験をしました。
最近各地で発生している暴風雨の体験をはじめ、煙体験・地震体験・都市型水害体験をし、地震体験では起震車と違い過去の震災の揺れをリアルに再現しており、迫力のある揺れに立つことはおろか座っている事さえ困難な揺れで、ダンゴムシのポーズでじっとしている事だけしか出来ませんでした。

煙体験

暴風雨体験

地震体験

緊急自動車走行訓練

9月22日(月) 全国秋の交通安全運動に併せて、大泉自動車教習所に於いて、緊急自動車走行訓練を実施しました。
石神井消防団には各分団に1台ずつ計10台の可搬ポンプ積載車が配備されており、災害時に緊急走行させる機会が増えたことに伴い、緊急時に安全に災害現場へ急行出来ることを目的に行いました。

地域のイベントへ参加

各分団の受け持ち区域内で行われた盆踊り大会などのイベントに参加をして、警戒活動と広報活動を行いました。